

# 子どものいのちを大切にしたい

## 「放射線教育」について考える勉強会

糸島市では、2012年度から放射線教育が始まり、文部科学省作成の副読本が全児童・生徒に配布される予定です。

この副読本について、私たちは、大きな疑問と懸念を抱いています。

たとえば、放射線について「自然界にもある」「身近なもの」など、危険性よりもむしろ安全を強調するような表現が多く、放射線が人体に与える影響についても過小評価されていること。

また、子どもに知っておいてほしい「同線量でも年齢が低いほどその影響は大きい」ことや、まさに目前にある内部被ばくの問題についてほとんど触れられていないことなど、とても子どものいのちを守るために作成されたものとは思えません。

加えて、この副読本を使用する教員、そして、それを推進する教育委員会自体が、そもそも放射線に対する十分な知識がなく、この副読本の内容について妥当かどうか正しく判断できない中で、安易な放射線教育を進めようとしていること自体が大きな問題だと考えています。

もちろん、そういう私たちもまだまだわからないことばかり。

だからこそ、ちゃんと確かめたいのです。

放射線は子どもにどんな影響を与えるのか、何を子どもたちに伝え、どんなことを学んでほしいのか。それを自らきちんと見極めた上で、子どもに伝えられる責任ある大人でありたいと思っています。

そのための第一歩として、糸島市が使用しようとしている副読本について検討する勉強会を企画しました。

三好永作先生(元九州大学理学部教授／日本科学者会議福岡支部核問題研究委員会)をお招きし、一緒に読み進めながら、問題点を整理していきます。

\*三好先生は、科学者としての社会的責任を持ち、何よりも市民のいのちを守るべく「原発事故緊急対策マニュアル ～放射能汚染から身を守るために～」を作成された方です。

どうぞ、ご参加ください。

主催：いとしま菜の花プロジェクト <http://nanohana.aikotoba.jp/>

みつばち長屋 <http://38nagaya.seesaa.net/>

とき：2012年3月4日（日）13：30～16：30

ところ：龍国禅寺（糸島市二丈波呂474）

申し込み：いとしま菜の花プロジェクト [itonanohana@yahoo.co.jp](mailto:itonanohana@yahoo.co.jp) まで氏名、人数、連絡先を明記の上、お申し込みください。人数確認のためなるべく事前にご連絡ください。

問い合わせ：松本 090-5477-0322 参加費：300円（資料代）

\*各自、文科省の副読本をプリントアウトしてご持参下さい。

（印刷できない方はご相談下さい）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shuppan/sonota/detail/1311072.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/detail/1311072.htm)

（当日は、小学生用の副読本を中心に扱う予定です。教師解説書も合わせてご持参下さい）

